

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、「取付説明書」および同梱の「ウッド製品取扱いに際してのご注意とお願い」を施主様にお渡しください。

■はじめに

- 施工を始めてから手直しができないように、事前に調査や打合せを十分に行なってください。
- 部材にそりが生じることがありますが、施工時に調整しながら組付けしてください。
- 水平・垂直等のレベル出しは正確に行なってください。正確に出ていない場合には組付かないことがあります。
- ネジ類はたたき込みをせずに、確実に締め付けてください。
- 部材切断時に切り粉等の粉塵を吸い込まないように、注意予防してください。
- ささくれ等でケガをしないように軍手、安全靴等を必ず使用してください。
- フェンスを取付ける場合は、デッキを取付けた後の施工になります。詳細は、P10～P15「フェンスの取付け」を参照してください。
- デッキの上にテラス、エクシオール等は設置できません。

■梱包明細書

本体

①束柱(角部)セット

名 称	員 数	
	4本入	6本入
束柱(角部) L=525	4	6

②束柱(中間部)セット

名 称	員 数	
	2本入	3本入
束柱(中間部) L=525	2	3

③床板セット

名 称	員 数	
	2枚入	3枚入
床板 L=1800(6尺), 2640(9尺), 3480(12尺)	2	3

④側桁セット

名 称	員 数		
	6尺	9尺	12尺
側桁(左) L=1800(6尺), 2640(9尺), 3480(12尺)	1	1	1
側桁(右) L=1800(6尺), 2640(9尺), 3480(12尺)	1	1	1

⑤内桁セット(1間, 1.5間, 2間)

名 称	員 数		
	1間	1.5間	2間
内桁1 L=1743	1	—	—
内桁2 L=1290.5	—	2	—
内桁3 L=1640.5	—	—	1
内桁4 L=1780.5	—	—	1

⑥内桁セット(2.5間, 3間, 3.5間, 4間)

名 称	員 数			
	2.5間	3間	3.5間	4間
内桁2 L=1290.5	2	—	2	—
内桁3 L=1640.5	—	2	—	2
内桁5 L=1678	1	—	2	1
内桁6 L=1818	—	1	—	1

⑦前桁セット(1間, 1.5間, 2間)

名 称	員 数		
	1間	1.5間	2間
前桁1 L=1743	1	—	—
前桁2 L=1290.5	—	2	—
前桁3 L=1640.5	—	—	1
前桁4 L=1780.5	—	—	1

⑧前桁セット(2.5間, 3間, 3.5間, 4間)

名 称	員 数			
	2.5間	3間	3.5間	4間
前桁2 L=1290.5	2	—	2	—
前桁3 L=1640.5	—	2	—	2
前桁5 L=1678	1	—	2	1
前桁6 L=1818	—	1	—	1

本体(つづき)

⑨部品セット

名 称	員 数																							
	1 間			1.5間			2 間			2.5間			3 間			3.5間			4 間					
	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺	6尺	9尺	12尺
φ4.8×65コーススレッド	140	175	210	200	245	290	255	310	360	295	370	445	360	440	525	420	515	610	480	585	690			
M6×50六角ボルト	24	32	32	24	32	32	24	32	32	24	32	32	24	32	32	24	32	32	24	32	32			
M6×110六角ボルト	—	—	4	16	20	28	16	20	28	32	40	52	32	40	52	48	60	76	48	60	76			
M6六角ナット	8	8	20	24	28	44	24	28	44	40	48	68	40	48	68	56	68	92	56	68	92			
M6平座金	16	24	24	48	64	72	48	64	72	80	104	120	80	104	120	112	144	168	112	144	168			
束柱固定金具	8	12	12	16	22	24	16	22	24	24	32	36	24	32	36	32	42	48	32	42	48			
φ4.1×32丸木ネジ	16	24	24	32	44	48	32	44	48	48	64	72	48	64	72	64	84	96	64	84	96			
S6フィッシャーブラグ	8	12	12	16	22	24	16	22	24	24	32	36	24	32	36	32	42	48	32	42	48			
床板目地材	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
社名シール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
取付説明書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
取扱説明書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			

フェンス オプション

①フェンス支柱セット

名 称	員 数	
	前面用	側面用
支柱(前面用) L=905	1	—
支柱(側面用) L=905	—	1
支柱固定ボルト(M6×110六角ボルト)	—	2
支柱固定ボルト(M6×140六角ボルト)	2	—
支柱固定ナット(M6六角ナット)	2	2
支柱固定平座金(M6平座金)	4	4

②笠木・下桟セット

名 称	員 数	
	1スパン	2スパン
下桟 L=805	1	2
笠木(1スパン用) L=1134	1	—
笠木(2スパン用) L=1974	—	1
端柱固定金具	2	2
下桟ブラケット	2	4
φ5×30サラ	2	4
φ4×20ナベ	4	8
M4×30トラス小ネジ	2	3
M4六角ナット	2	3
M4平座金	2	2
φ4×32ナベ	4	4

③ラチスパネルセット

名 称	員 数
ラチスパネル	1

④クロスパネルセット

名 称	員 数
クロス桟 L=1095	2
クロス桟組付ネジ(φ4×20サラ)	1

⑤笠木コーナー裏板セット

名 称	員 数
笠木コーナー裏板	1
笠木コーナー裏板組付ネジ(φ4×20ナベ)	4

⑥笠木端部キャップセット

名 称	員 数
笠木端部キャップ	2
笠木端部キャップ組付ネジ(φ4×32サラ)	4

⑦笠木連結金具セット

名 称	員 数
笠木連結金具	2
笠木連結金具組付ネジ(φ4×20ナベ)	8

⑧支柱コーナー部材セット

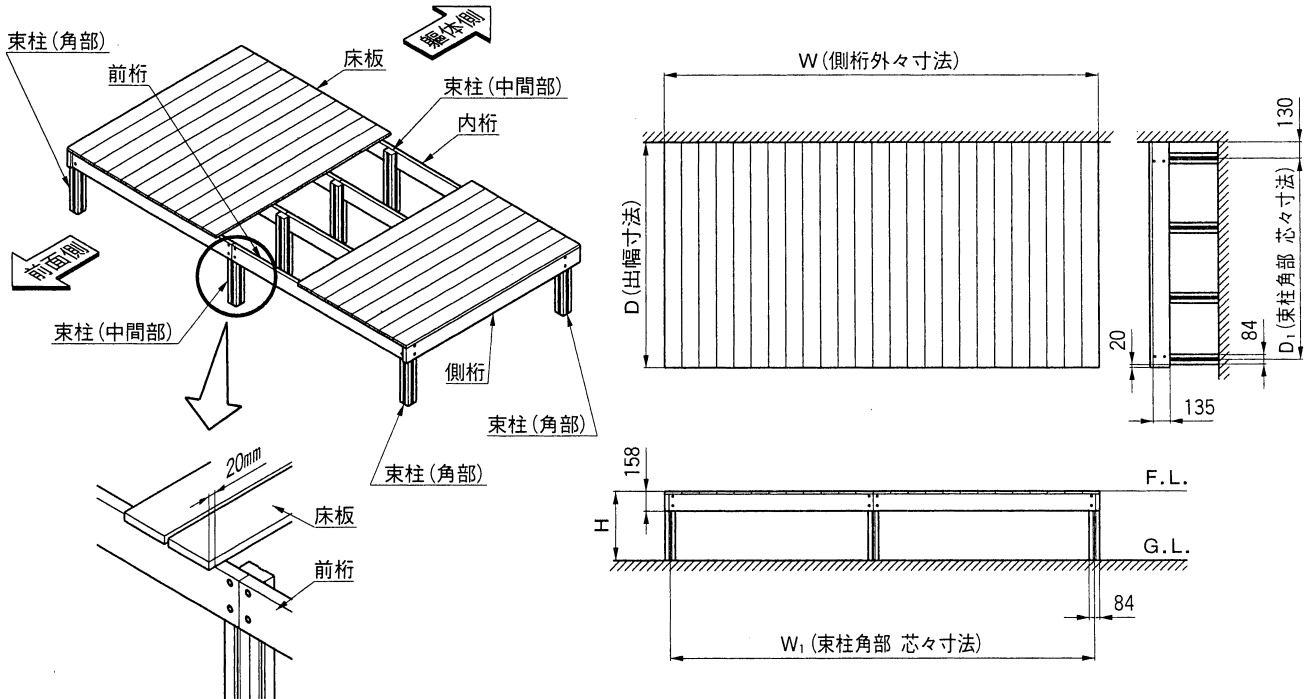
名 称	員 数
支柱コーナー部材 L=765	1
支柱コーナー部材組付ネジ(φ4.8×65コーススレッド)	4

ステップ オプション

名 称	員 数
ステップ側枠 L=687.5	2
ステップ踏み板 L=726	2
ステップ固定板 L=730	1
ステップ踏み板受金具(右)	2
ステップ踏み板受金具(左)	2
ステップ踏み板受金具組付ネジ(φ4×30ナベ)	8
ステップ固定板組付ネジ(φ4.8×65コーススレッド)	4
ステップ踏み板組付ネジ(φ4.8×65コーススレッド)	8
ステップ側枠組付ネジ(φ4.8×65コーススレッド)	4

1. 姿図および基本寸法図

1-1 本体 ※下図は、2間6尺タイプの例です。

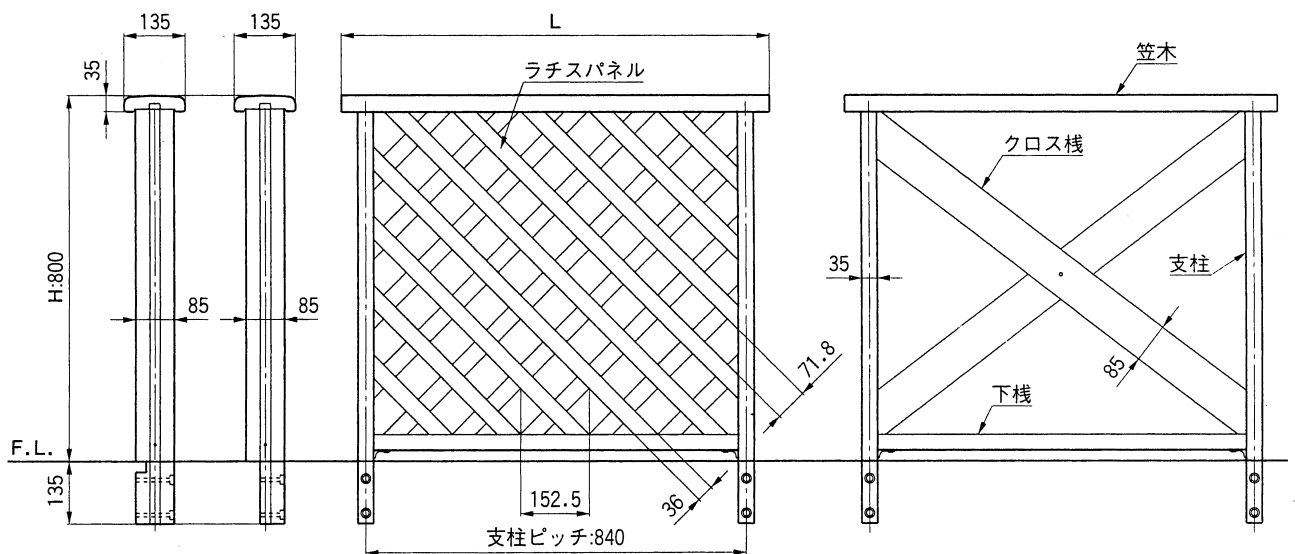


デッキ仕上り高さの範囲：H(GL~FL)
max：550 (mm) min：200 (mm)

	出幅サイズ		
	6R	9R	12R
D (出幅寸法)	1800	2640	3480
D ₁ (束柱角部芯々寸法)	1605	2445	3285

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間
W (側桁外々寸法)	1815	2655	3495	4335	5175	6015	6855
W ₁ (束柱角部芯々寸法)	1725	2565	3405	4245	5085	5925	6765

1-2 フェンス オプション ※笠木のL寸法は、P13を参照ください。



前面用 側面用

ラチスタイプ

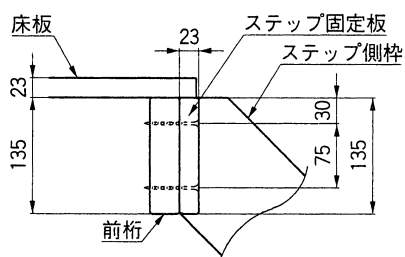
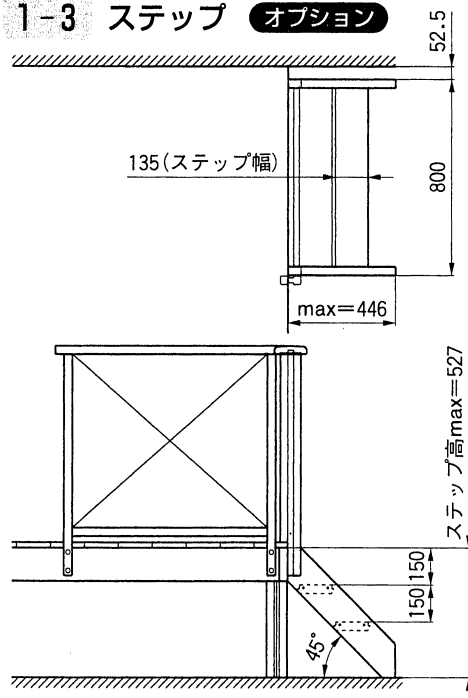
- ラチスパネル厚さ=21
- パネルの切詰め可

クロスタイプ

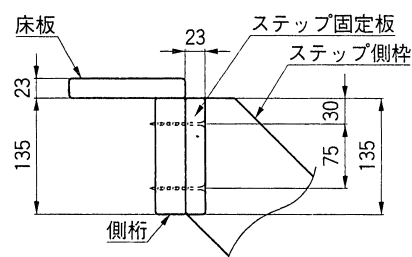
- クロスパネル厚さ=22
- パネルの切詰め不可

1. つづき

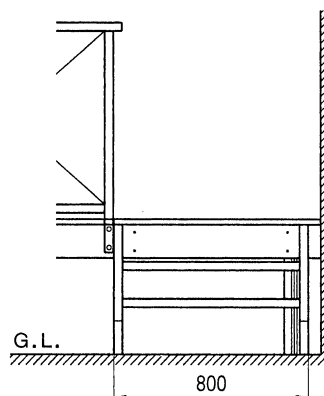
1-3 ステップ オプション



前面部取付け納まり



側面部取付け納まり



2. 基礎位置伏せ図

2-1 1.0間, 1.5間, 2.0間

※表中■は束柱(中間部)を示します。

間口 出幅	1.0間	1.5間	2.0間
6 尺			
9 尺			
12 尺			

2-2 2.5間,3.0間

※表中■は束柱(中間部)を示します。

間口 出幅	2.5間	3.0間
6 尺		
9 尺		
12 尺		

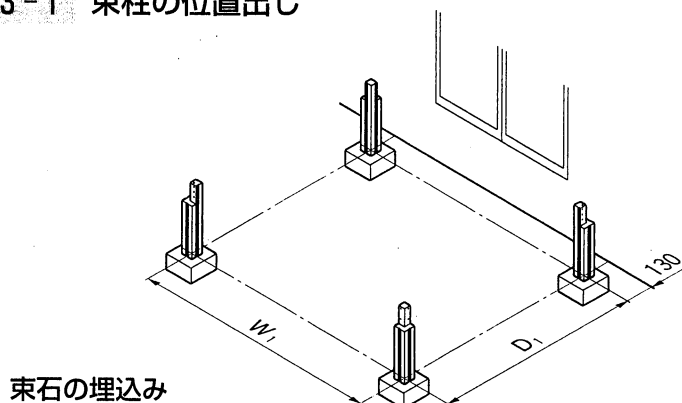
2-3 3.5間,4.0間

※表中■は束柱(中間部)を示します。

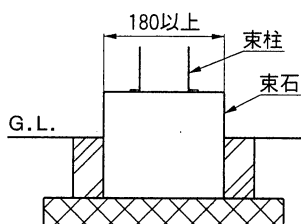
間口 出幅	3.5間	4.0間
6 尺		
9 尺		
12 尺		

3.基礎部の組付け

3-1 束柱の位置出し



束石の埋込み



	間口サイズ						
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間
W ₁	1725	2565	3405	4245	5085	5925	6765

	出幅サイズ		
	6尺	9尺	12尺
D ₁	1605	2445	3285

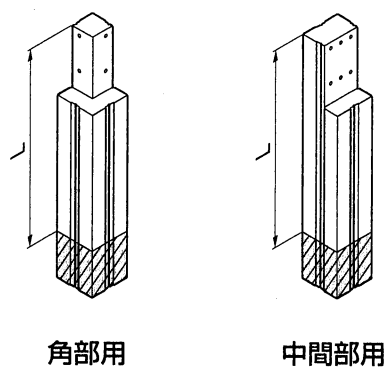
<注 意>

- 四隅の束柱(角部用)が基準となります。
W₁：間口方向芯々寸法(mm)
D₁：出幅方向芯々寸法(mm)
- ❶ 各束石の位置を約40cm角、深さ20cmに掘り、栗石を敷いて束石を据えてください。
- ❷ 束石のレベルを出してください。
- ❸ 束石をコンクリートで固めてください。

<注 意>

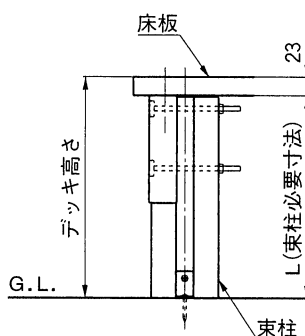
- ❶、❸の作業が十分でないと、基礎の浮き沈みが生じるおそれがあります。
- G.L.面がコンクリート仕上げでない場合は、束石等を使用してください。

3-2 束柱の加工

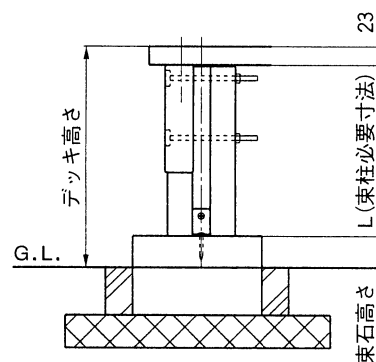


角部用

中間部用



土間仕様

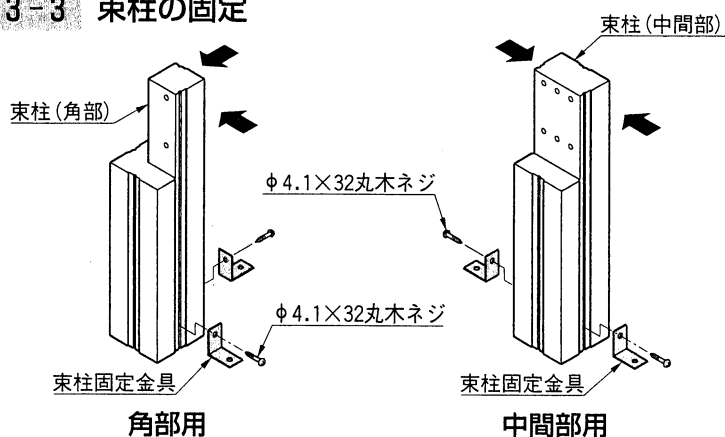


束石仕様

<注 意>

- 束柱の下部(斜線部)より、切断加工してください。
- 土間仕様および束石仕様で束柱の切断寸法が異なります。(下図参照)
L：束柱必要寸法(mm)

3-3 束柱の固定



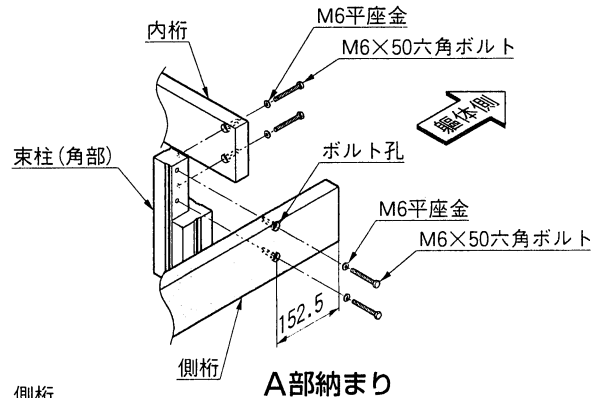
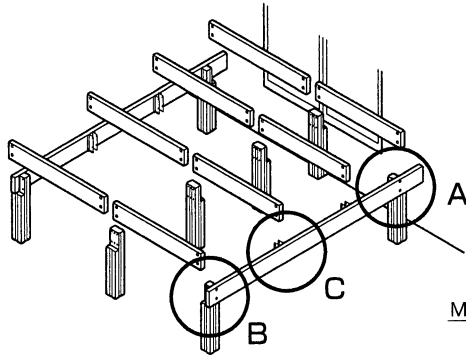
<注 意>

- 束柱固定金具の取付面は、矢印側(溝が通っている面)を標準とします。
- 束柱をG.L.および束石に固定するのは、桁の組付け後になります。

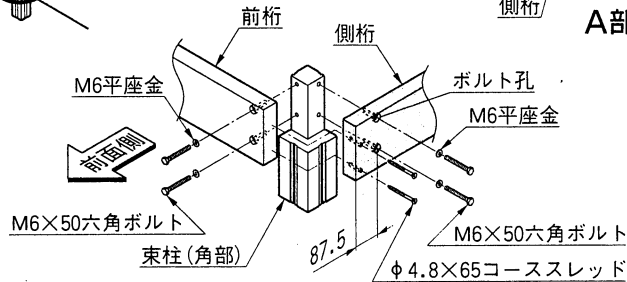
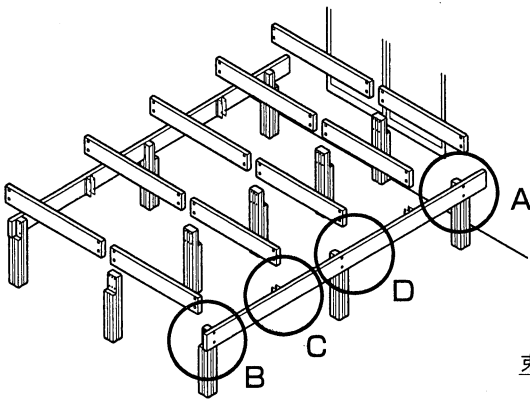
4. 桁の組付け

4-1 側桁の固定

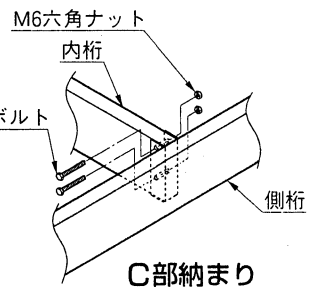
●出幅6尺



●出幅9尺

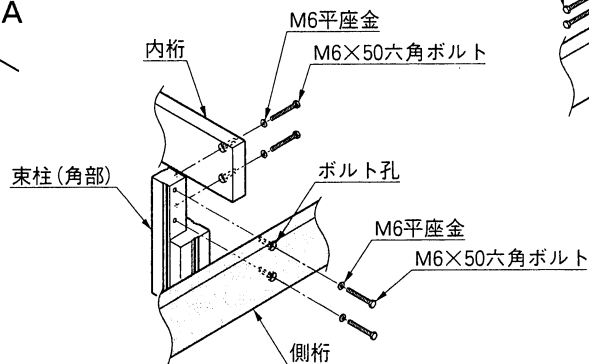
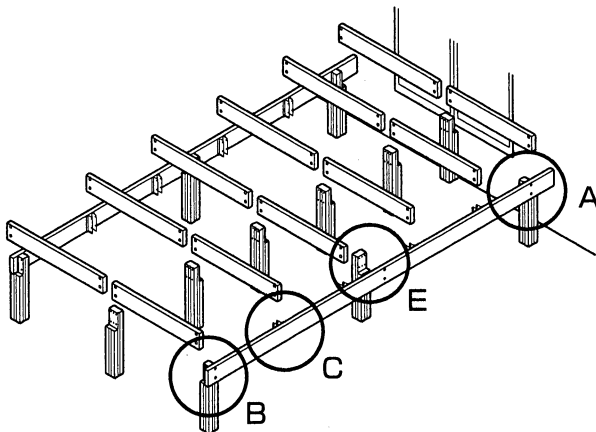


B部納まり

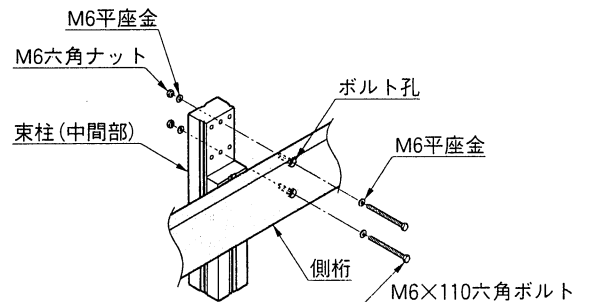


C部納まり

●出幅12尺



D部納まり



E部納まり

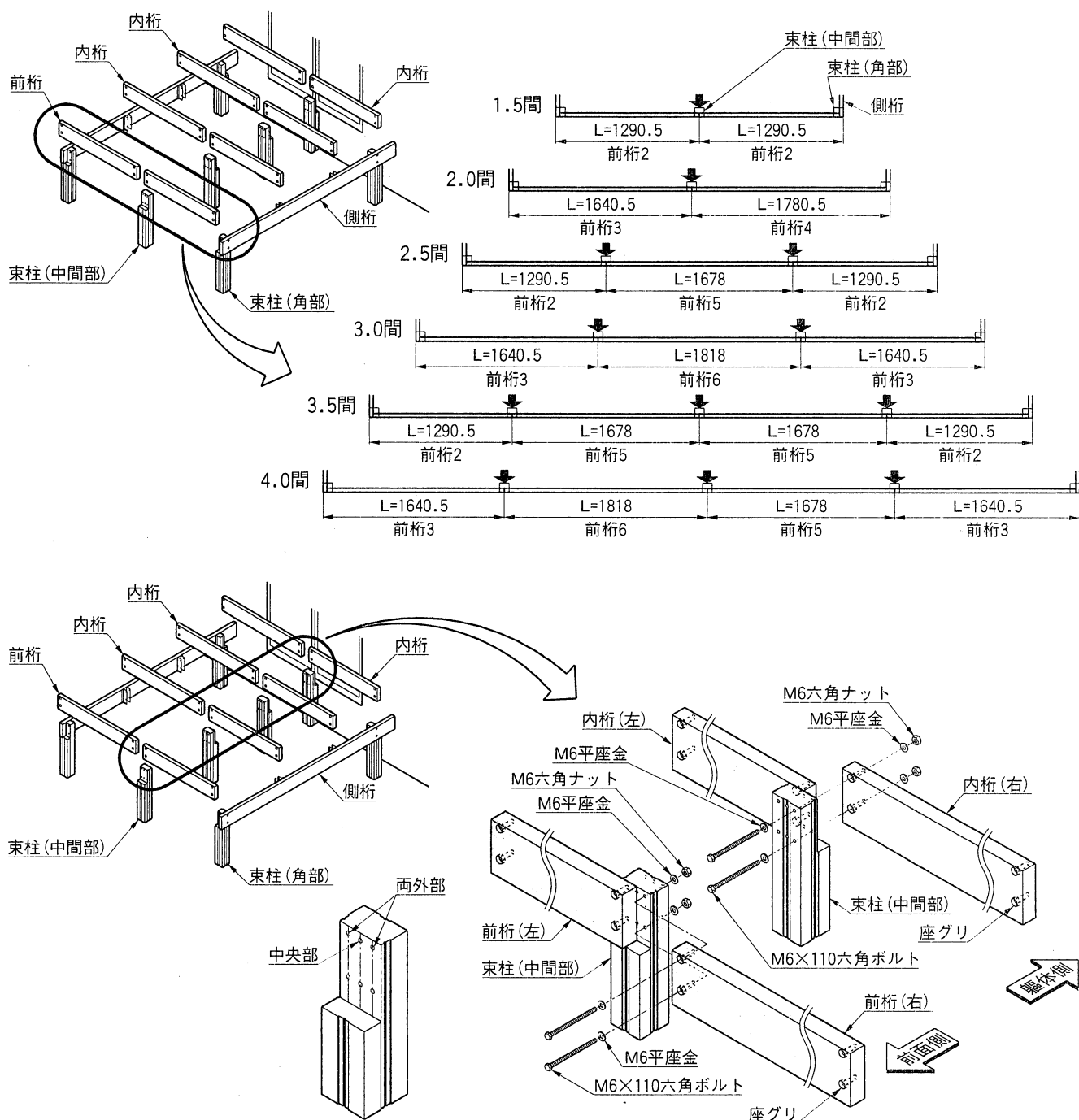
<注 意>

- 側桁の両端からボルト孔までの距離の、短い方 (87.5mm) が前面側、長い方 (152.5mm) が躯体側になります。
- 束柱 (角部) には埋込ナットが取付けてあり、組付け時は真直ぐにボルトを取付けてください。斜めに取付けると埋込ナット破損の原因になります。

4.つづき

4-2 前桁、内桁の配置

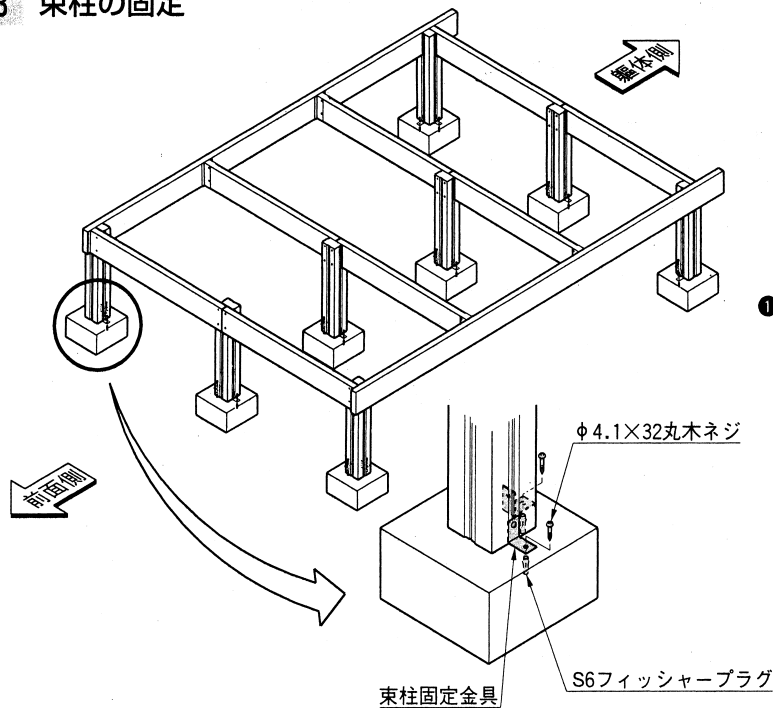
- ① 1.5間以上の本体は、前桁、内桁が分割になります。なお、前桁と内桁は同じ長さです。
- ② 本図は前桁の納まりを示し、図中の $\blacktriangledown$ は連結位置を示します。内桁も同じ連結位置になります。
- ③ 連結部分には束柱(中間部)を使います。



<注意>

- 束柱の向きが、前桁部と内桁部では逆方向になります。(上図参照)
- 束柱の取付孔は次のように使い分けてください。
 - 中央部・・・桁の連棟の無い支持用
 - 両外部・・・桁の連棟時の支持用
- 前桁は座グリが表面側に
内桁は座グリが束柱側になるように取付けてください。

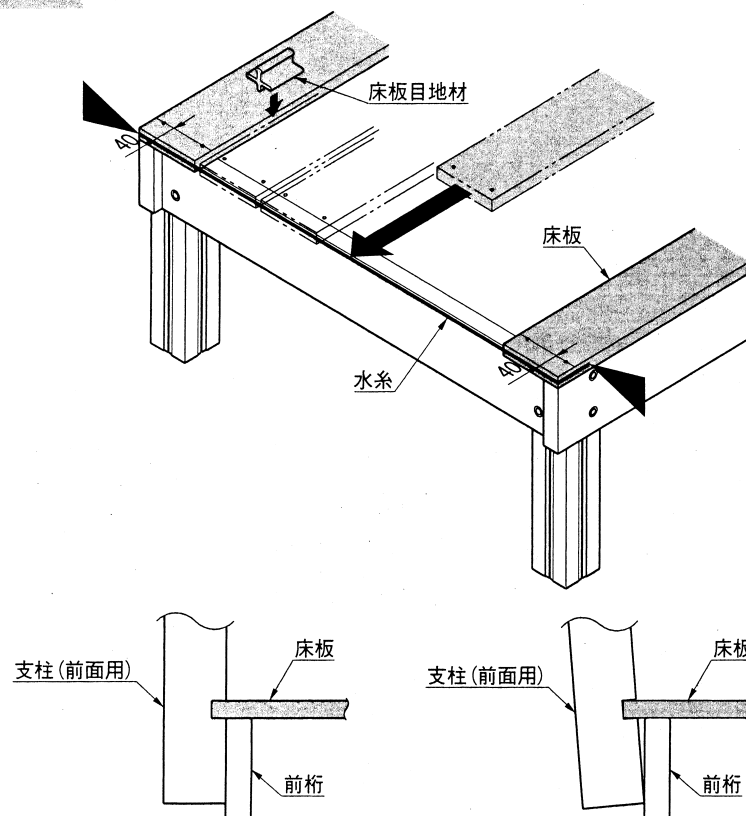
4-3 束柱の固定



- ① 桁のピッチを確認し、束柱を束石またはGLに固定してください。
S6フィッシャープラグの下孔径はφ6です。

5. 床板の張込み

5-1 床板の割付け



- ① 両端に床板を張ってください。
側面は側桁の面に合わせて、前面は側桁の先端に面を合わせて張ってください。
- ② 床板先端から40mmのラインに下孔(φ5)加工後、φ4.8×65コーススレッドで固定してください。
- ③ 両端の床板木口に水糸(図中 ) を張り、デッキを並べてください。
- ④ 目地は5mm隔けてください。
(床板目地材をご利用ください。)

<注意>

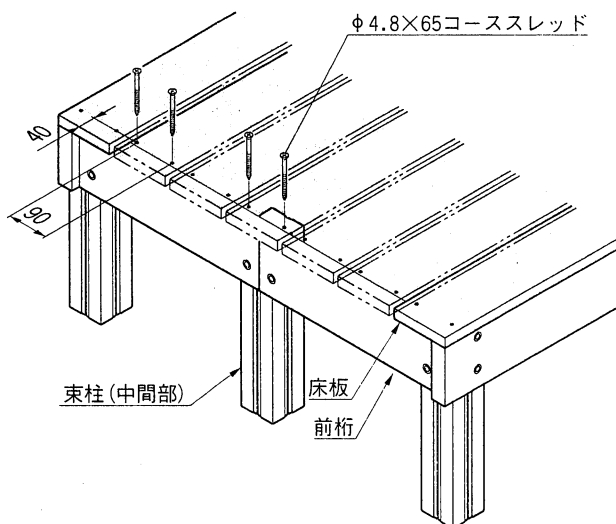
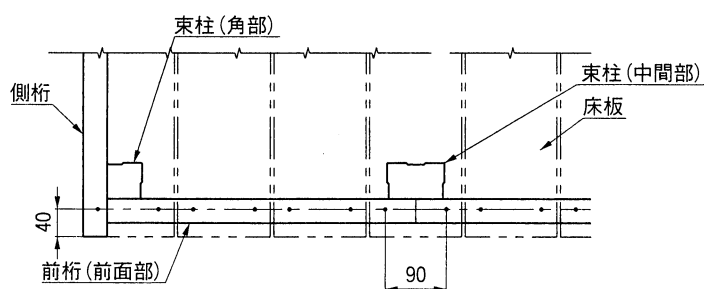
- 床板は水糸よりも出ないように並べてください。
水糸よりも出た位置に張りますと、フェンスが正しく固定できない場合があります。(図1、2)

図1 正しい位置に固定した場合 図2 出すぎた位置に固定した場合

5. つづき

5-2 床板の固定

- ❶ 床板先端から40mmのラインに下孔(φ5)加工後、ネジ止めしてください。
- ❷ ネジ間隔は、90mmを目安にしてください。
- ❸ 床板の残りが全体の1/3程度になったら、目地を調節して張ってください。
(材料の曲り等により目地がずれる場合があります。)



<注 意>

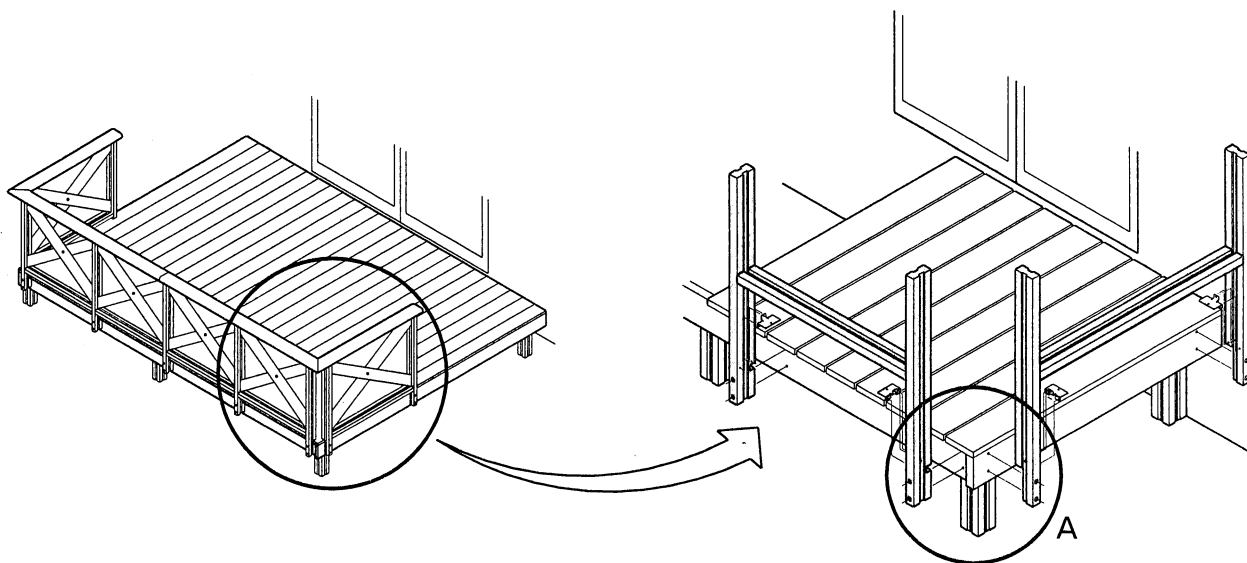
- 材料の曲がり等がある場合、下孔は調節して加工してください。

6. フェンスの取付け

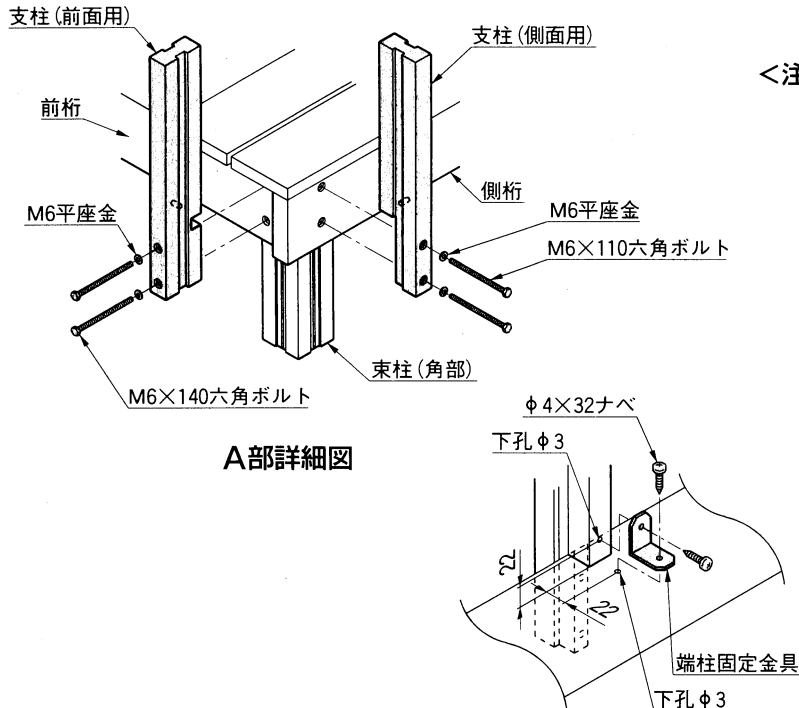
※フェンスの基本寸法は、P3「1. 姿図および基本寸法図」を参照してください。

<注 意>

- デッキコーナー部Aが支柱組付けの基準になります。



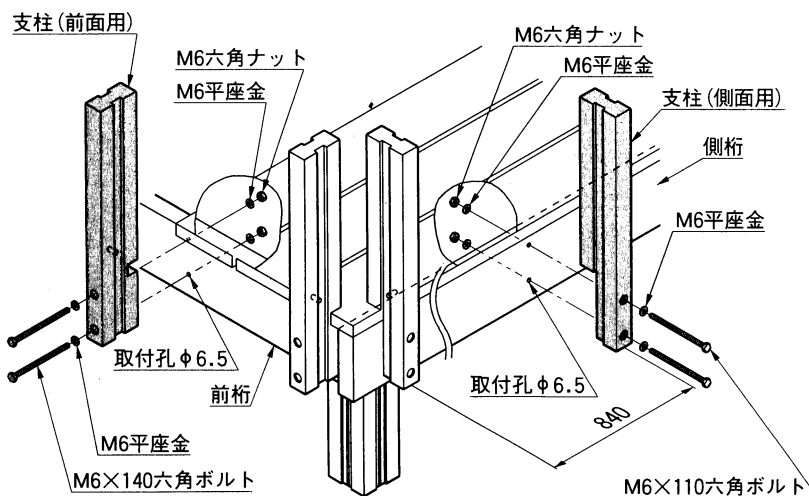
6-1 コーナー部Aの支柱の組付け



<注 意>

- 支柱は前面用と側面用がありますので、確認してから組付けてください。
- 束柱(角部)には埋込ナットが取付いています。
組付け時はボルトを真直ぐに組付けてください。斜めに組付けると破損の原因となります。
- ① 束柱と桁(前, 側桁)を組付けている六角ボルト(M6×50)を外し、支柱固定用ボルト(前面用: M6×140, 側面用: M6×110)に組替えて支柱を固定してください。(桁と共締めになります。)
- ② コーナー部および端部の柱に下孔(φ3)をあけ、端柱固定金具を組付けてください。

6-2 コーナー部A以外の支柱の組付け



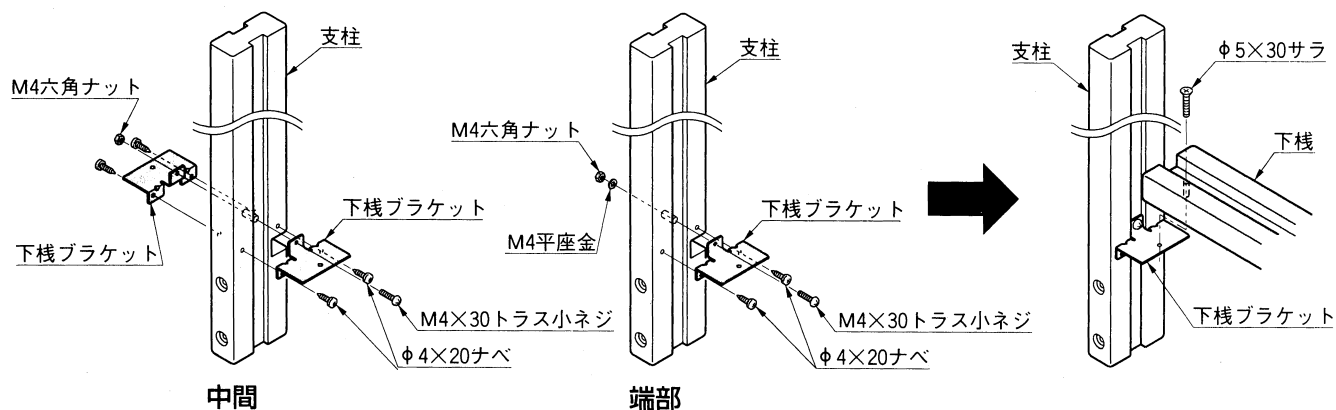
- ① コーナー部を基準に支柱ピッチを確認し、桁(前, 側桁)に取付孔を加工してください。
ドリル径・・・φ6.5
支柱ピッチ・・・840mm
- ② 支柱固定用ボルト(前面用: M6×140, 側面用: M6×110)で支柱を固定してください。
- ③ 端部となる柱には、コーナー部と同様に端柱固定金具を組付けてください。

6. つづき

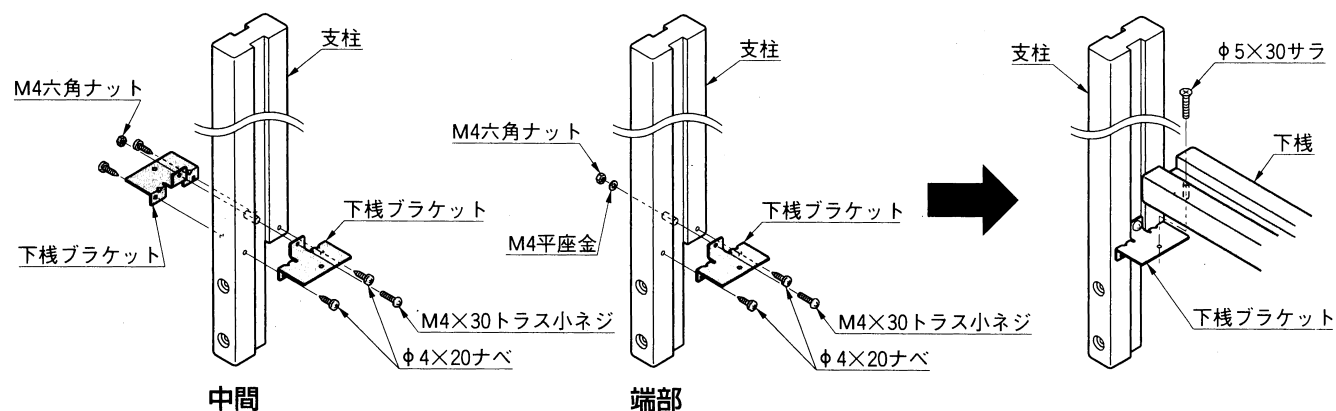
6-3 下棧ブラケット、下棧の組付け

- ① 下棧ブラケットを組付け、下棧を固定してください。

支柱(前面用)

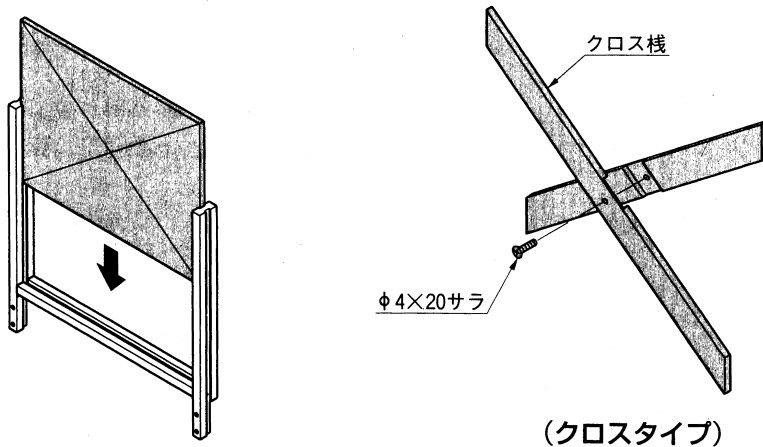


支柱(側面用)



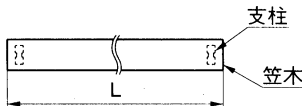
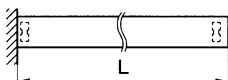
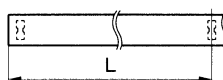
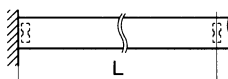
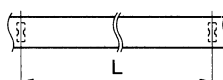
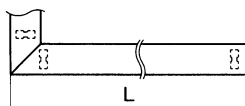
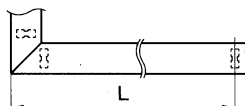
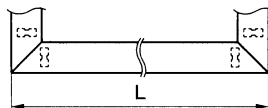
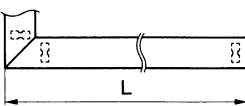
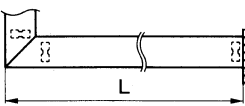
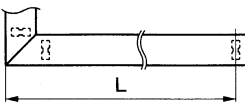
6-4 パネルの組付け

- ① パネルを支柱間に落とし込んでください。
 なお、クロスタイプは棧をあらかじめ組合わせておいてください。



6-5 笠木の加工

① 笠木の納まりとスパン数を確認の上、下表の寸法を参考に加工してください。

種 類		1スパン笠木L寸法	2スパン笠木L寸法	
直線笠木納まり	直線－単体 (両側端部)		945	1785
	直線－単体 (両側端部、躯体隣接)		925 [*]	1765 [*]
	直線－片面連続 (片側端部)		892.5	1732.5
	直線－片面連続 (片側端部、躯体隣接)		872.5 [*]	1712.5 [*]
	直線－両側面連続 (両側連結)		840	1680
前面部コーナー笠木納まり	前面部片側コーナー (片側端部)		1039	1879
	前面部片側コーナー (片側連結)		986.5	1826.5
	前面部両側コーナー		—	1973
側面部コーナー笠木納まり	側面部片側コーナー (片側端部)		1070	1910
	側面部片側コーナー (片側端部、躯体隣接)		1050 [*]	1890 [*]
	側面部片側コーナー (片側連結)		1017.5	1857.5

※ 表記方法は、端部キャップを使用しない場合の最大切断寸法を示しています。

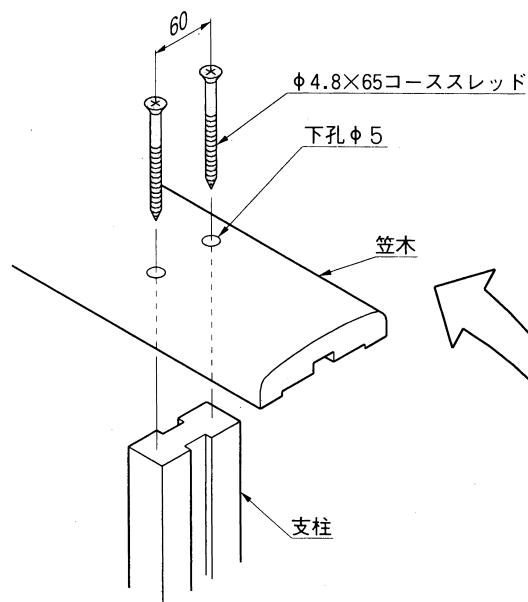
端部キャップを使用する場合は上記の寸法から3mm引いた寸法に加工してください。

6. つづき

6-6 笠木の組付け

直線部の組付け

- ① 下孔($\phi 5$)をあけ $\phi 4.8 \times 65$ コーススレッドで固定してください。

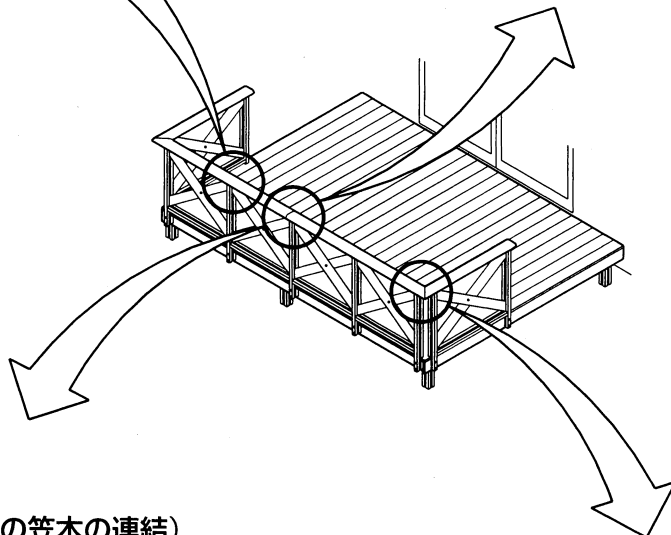
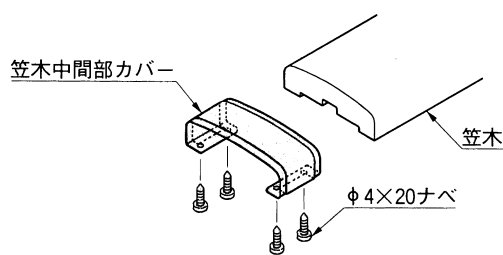


笠木中間部カバーの組付け

- ① 中間カバーを笠木端部からはめ込み、取付位置までスライドさせてネジで固定してください。

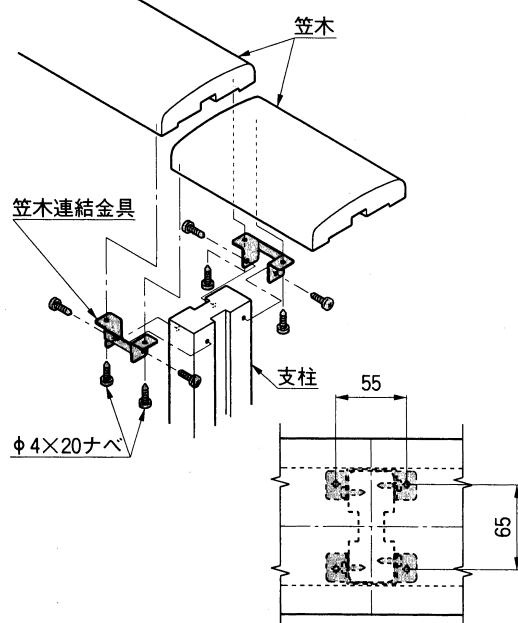
<注意>

- 必ず、端部キャップを取付ける前にはめてください。

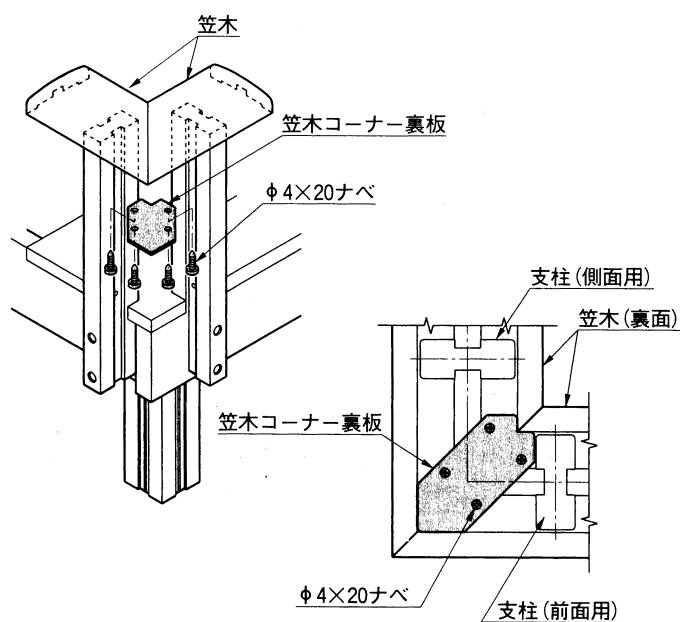


笠木連結部の組付け(支柱上での笠木の連結)

- ① 笠木連結金具を支柱に先付けします。



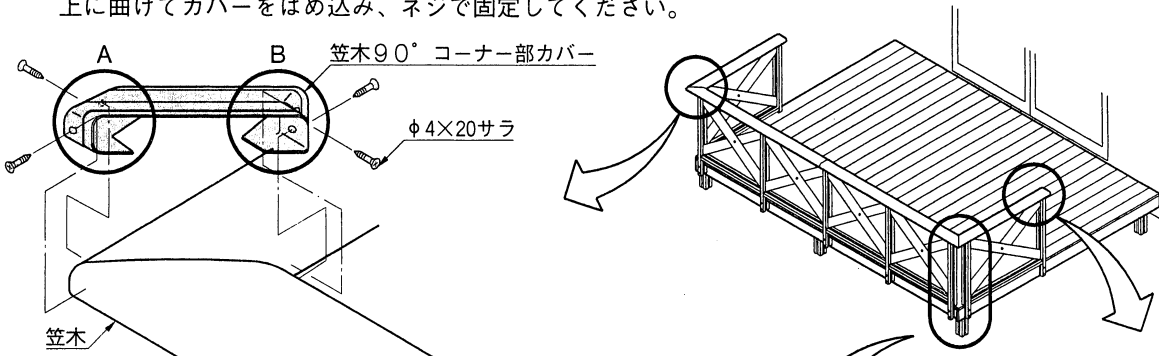
笠木コーナー裏板の組付け



6-6 つづき

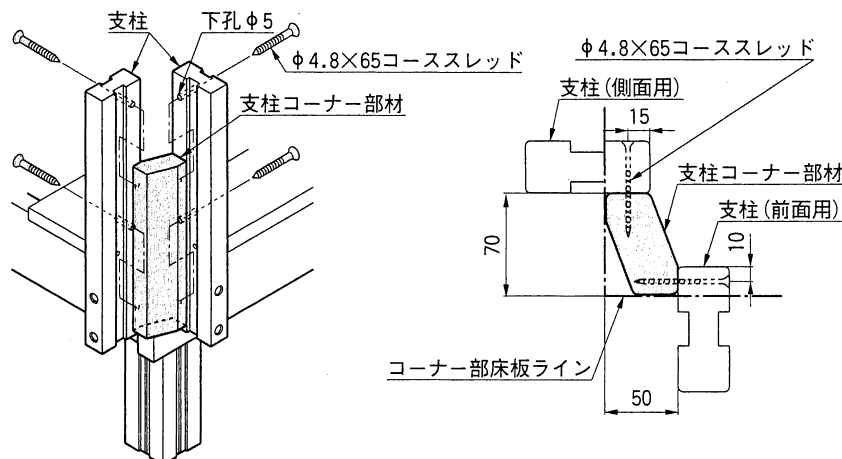
笠木90° コーナー部カバーの組付け

- カバーのA側を笠木に差込み、中央部を押さえながらB側を上に向けてカバーをはめ込み、ネジで固定してください。

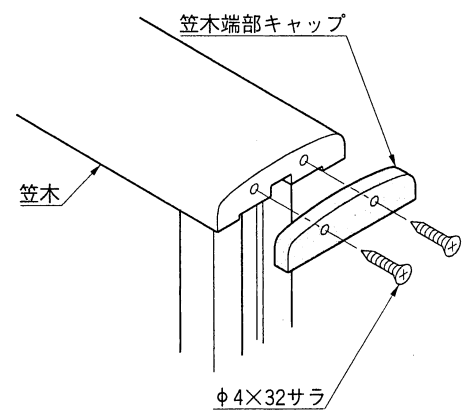


支柱コーナー部材の組付け

- 各支柱に下孔(φ5)をあけてください。



笠木端部キャップの組付け

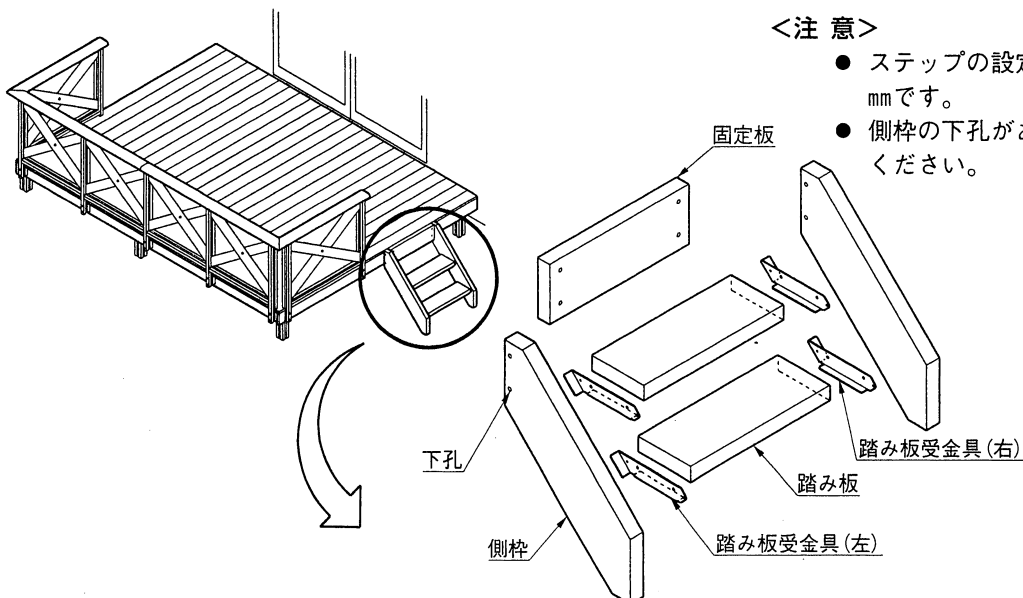


7. ステップの組付け

※ステップの基本寸法は、P4「1. 姿図および基本寸法図」を参照してください。

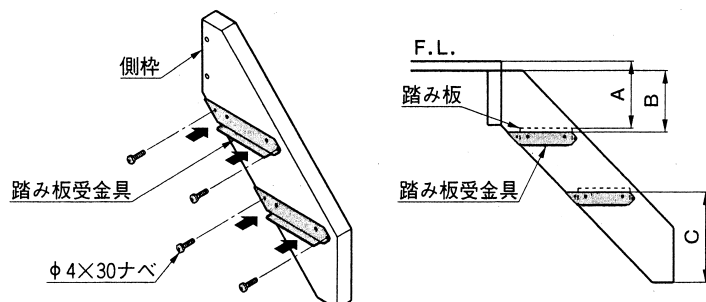
<注 意>

- ステップの設定最大高さは、GLより527mmです。
- 側枠の下孔があいている方を上側にしてください。



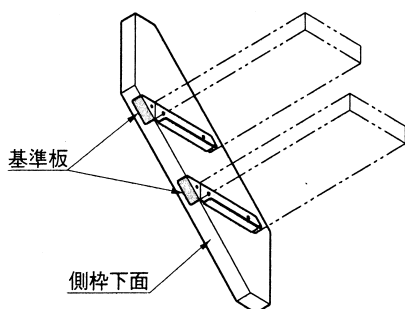
7. つづき

7-1 踏み板受金具の位置出し および 組付け



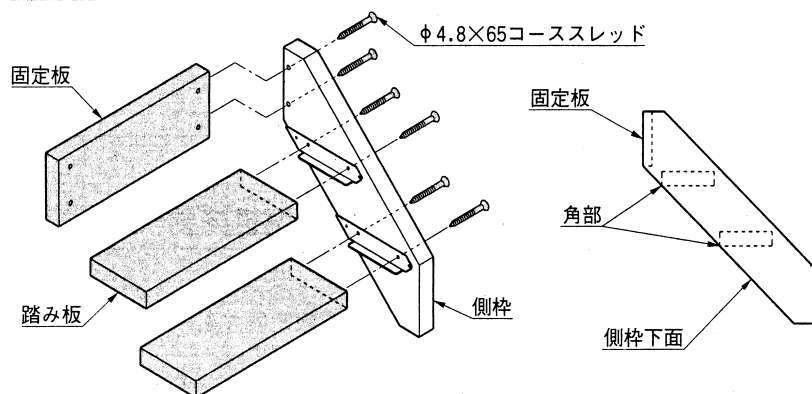
<注 意>

- F.L.からの1段面仕上げ寸法をAとすると、側枠上面から1段面金具上面までの寸法Bは、 $A - 20\text{mm}$ としてください。
(踏み板受金具の上面の3mm上が、踏み板の仕上げ面になります。)



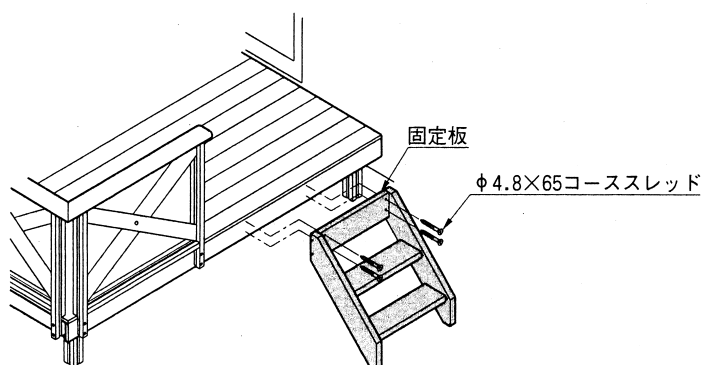
- ① 側枠の切詰めは、下面より行なってください。
- ② 孔がある側を、上(デッキ面側)にしてください。
- ③ 左図のC寸法は、150mm以上にしてください。
- ④ 踏み板受け金具を、金具の基準板が側枠下面に密着するように固定してください。
- ⑤ 矢印方向より、踏み板取付け用の下孔(φ5)を貫通加工してください。

7-2 踏み板、固定板の組付け



- ① 側枠下面に踏み板の角部をあわせて固定してください。
- ② 側枠と固定板を固定してください。

7-3 本体への組付け

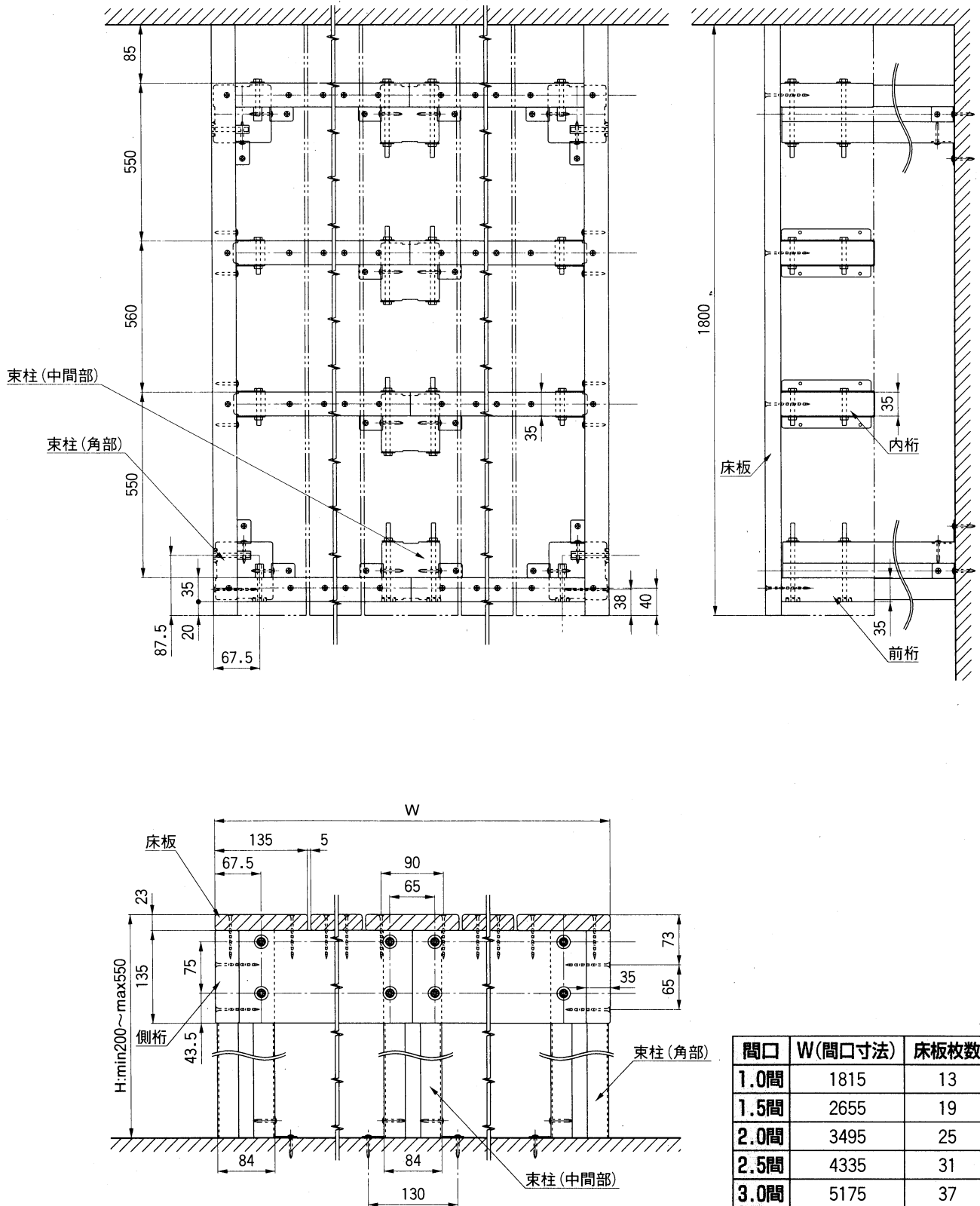


<注 意>

- ① 側枠が接地する位置に基礎石を埋込んでください。
 - ② 固定板の下孔を使用し、本体へ固定してください。
- 基礎石に平板をしまいますと、平板が浮沈し、がたつきの原因になりますので、必ず200mm角程度の基礎石を使用してください。

8. 基本納まり

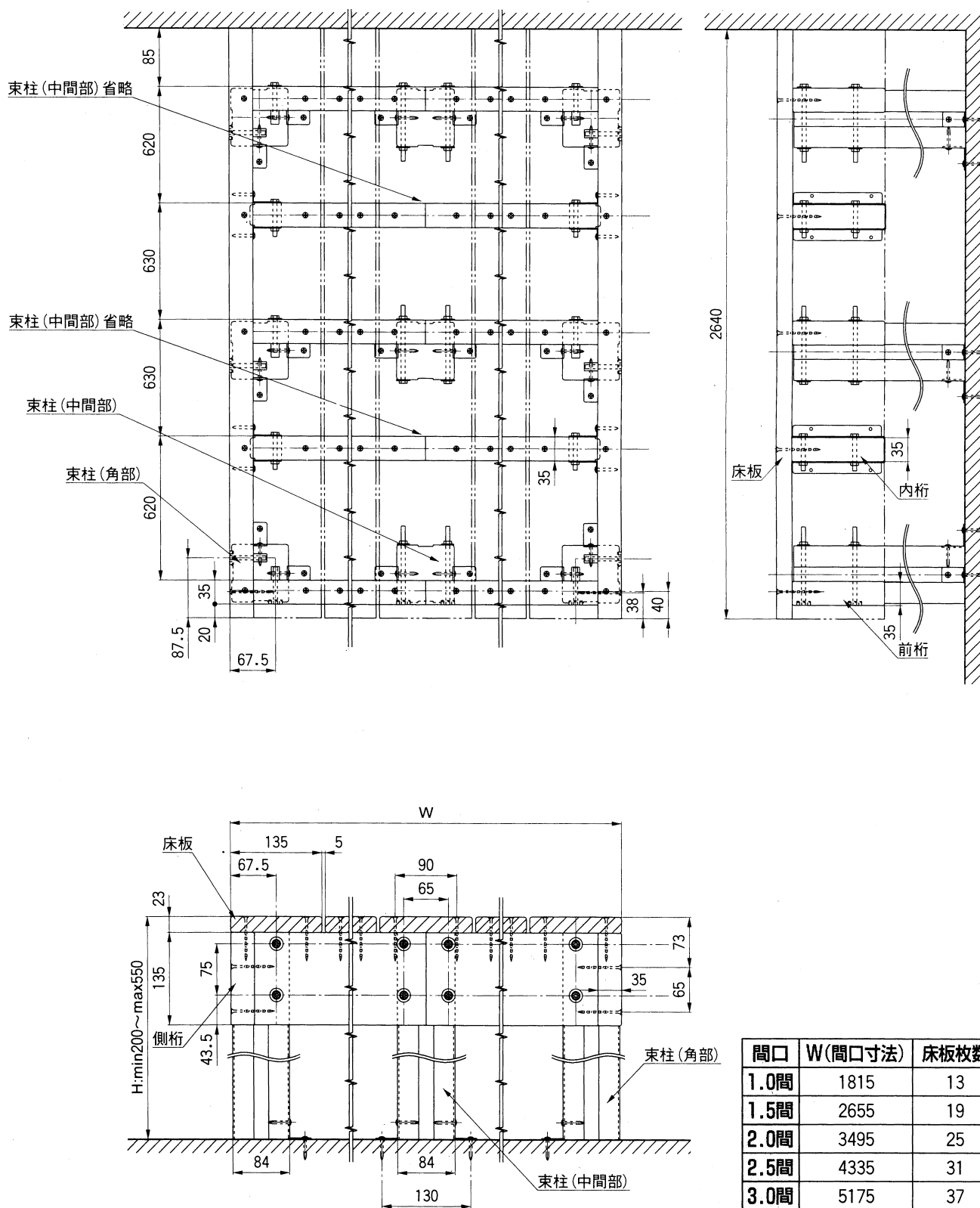
8-1 出幅6尺



間口	W(間口寸法)	床板枚数
1.0間	1815	13
1.5間	2655	19
2.0間	3495	25
2.5間	4335	31
3.0間	5175	37
3.5間	6015	43
4.0間	6855	49

8.つづき

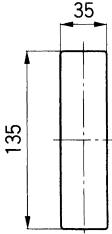
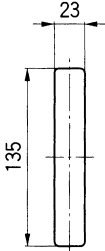
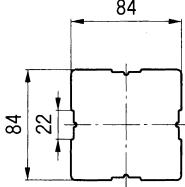
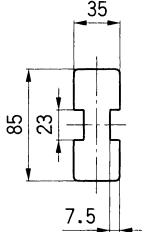
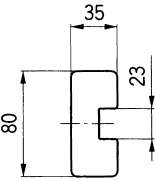
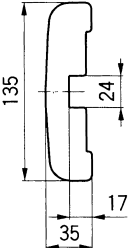
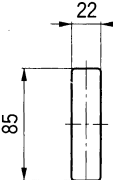
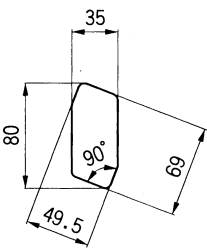
8-2 出幅9尺



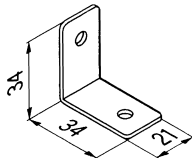
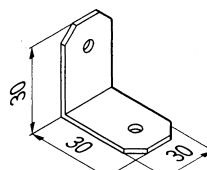
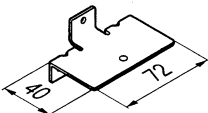
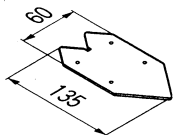
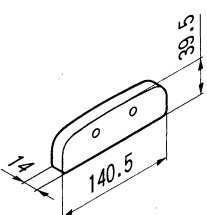
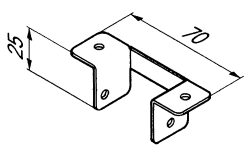
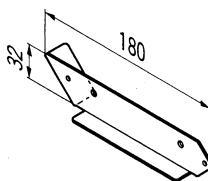
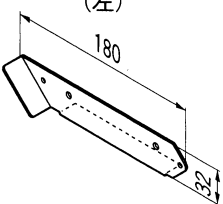
間口	W(間口寸法)	床板枚数
1.0間	1815	13
1.5間	2655	19
2.0間	3495	25
2.5間	4335	31
3.0間	5175	37
3.5間	6015	43
4.0間	6855	49

9. 主要部材表

9-1 木材断面一覧

前桁・側桁・内桁 ステップ側枠・踏み板	床板・ステップ固定板	束柱	支柱
			
下棧	笠木	クロス棧	支柱コーナー部材
			

9-2 部材寸法一覧

束柱固定金具	端柱固定金具	下棧ブラケット	笠木コーナー裏板
 t=2.0	 t=2.0		 t=2.0
笠木端部キャップ	笠木連結金具	ステップ踏み板受金具	ステップ踏み板受金具
	 t=1.5	(右)  t=2.0	(左)  t=2.0

取説コード

E077

98-10A
200109D_1001